

## 身体表象文化学専攻（博士前期課程）

### 1. 教育研究上の目的

身体表象文化学専攻は、現代のイメージ芸術（主に舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーション）に関して広い知識を持ち、専攻分野の研究対象を調査・分析し、それを通じて現代文化について独自の意見を発信できる能力を持つ人材を養成する。

### 2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

身体表象文化学専攻（博士前期課程）では、履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「修士（表象文化学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. 舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーション、身体表象文化論、身体表象文化史の5つの分野のうち1分野に関して、広範な知識を身につけている。
2. 自身の専攻する分野に関して、研究成果を論文にまとめ、口頭で発表することができる。

（思考・判断・表現）

3. 自身の専門とする主題について主要文献を読破し、研究対象を詳細に研究・調査・分析するとともに、その研究によって表象文化・芸術の歴史と現在について批判的に語る事ができる。
4. 現代文化と社会について自らの意見を発信することができる。

（関心・意欲・態度）

5. 自身の専攻する分野について包括的な専門知識を修得し、方法論的検討をしつつ特定の専門的研究テーマに取り組む意欲がある。

### 3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

身体表象文化学専攻（博士前期課程）では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成します。

（教育内容）

1. 舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーションにおいて、それぞれの専門分野における基本的な知識を習得するため、「舞台芸術文化論演習」「映像芸術文化論演習」「マンガ・アニメーション芸術文化論演習」を配置する。（知識・技能）

2. 身体表象文化の研究において不可欠なジェンダー研究の基本的な概念・アプローチを習得し、様々な社会・文化現象をジェンダーの視点から分析・説明する力を身につけるため、「身体表象文化論演習」を配置する。(思考・判断・表現)
3. 身体表象の概念と歴史を身につけるため、「身体表象文化史演習」を配置する。(知識・技能)
4. 身体表象の制度的な枠組みを研究し、それを社会的な実践に役立てるため、「表象文化制度論演習」を配置する。(思考・判断・表現)
5. 舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーションにおいて、それぞれの専門分野における応用能力の開発及び批評技法を習得するため、「舞台芸術批評研究」「映像芸術批評研究」「マンガ・アニメーション芸術批評研究」を配置する。(知識・技能)
6. 学生が修士論文の作成について必要な知識や技能を修得できるように、「修士論文指導」を必修科目として配置する。(思考・判断・表現)
7. 高度な専門知識を修得するため、他大学院研究科との相互交流協定を通じて相互の履修及び単位の修得ができ、学外の研究機関の設置する課程・研修会等の履修により設定された単位の履修を認める。(関心・意欲・態度)

(教育方法)

1. 講義科目では、幅広い知識を修得させることを目的として、講義法を採用する。
2. 演習科目では、学生自身のプレゼンテーション及び論文作成能力を向上させるため、アクティブ・ラーニングを取り入れた演習を採用する。
3. 指導教授が、きめ細かな研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。

(教育評価)

1. 知識・技能の修得に関しては、修士論文による研究成果の審査を通じて評価する。なお、その審査にあたっては、別に定める審査基準に基づいて、総合的に判断する。
2. 講義科目において、具体的な問題に関する報告及び討論を行うなかで、論理的かつ科学的な説明を行う能力、十分に根拠づけられた説得的な議論を構築する能力、及び他者との議論の中で妥当な結論を導いていく能力を測る。
3. 指導教授による演習科目において、自らの知識と思考を用いて具体的な問題を検討し、解決しようとする姿勢と能力を測る。そして、修士論文の審査を通じて、より専門的な学問的能力についての評価を行う。

#### 4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

身体表象文化学専攻（博士前期課程）では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーション芸術、ジェンダー文化論の4つの分野のうち1分野に関して、専門的な知識を身につけている。

(思考・判断・表現)

2. 専門的知識と広い文化的関心とをバランスよく示す文章を書くことができる。

(関心・意欲・態度)

3. 大学の学部におけるリベラル・アーツ的な広い教養と、文化全般に対する自発的な関心を持っている。

以 上